第1版

日本歯周病学会における侵襲性歯周炎データベース構築に向けた考え方

「初診時年齢が永久歯列完成後から35歳未満で、歯周病が原因と考えられる垂直性骨破壊を2歯以上認める場合に、侵襲性歯周炎とする（第二大臼歯部の遠心は除く）。

ただし、年齢が35歳以上で45歳未満にあっても、上記の骨破壊の条件を満たした場合で、35歳未満に発症していることが確認できる資料 (診療録または問診履歴等による) が存在する場合は、侵襲性歯周炎の疑いとする。」

上記基準を基に、以下のスクリーニングを行う。

初診時年齢 □10代6点　□20代5点　□30代4点　□40代2点

□50代0点

推定発症年齢 (不明な場合は初診時年齢に準ずる)

□10代3点　□20代2点　□30代1点　□40代0点

喫煙歴 □無 2点　 □前喫煙者 1点 □現喫煙者 0点

矯正治療の既往 □無2点　□有1点

歯周病に影響を及ぼす全身疾患 □無2点　□有（病名：　　　）0点

中切歯/側切歯の喪失または同歯周組織の破壊 □有2点 □無0点

大臼歯の喪失または同歯周組織の破壊　　 □有2点 □無0点

両側性の歯槽骨破壊 □有1点 □無0点

合計点：　　点/ 20点

以下の項目は大学病院にて精査

問診等で早期発症年齢が確定できる場合は、上記の年齢の制約を受けない。

家族歴 (祖父母・父母・兄弟及び子供の関連を疑う歯周病罹患) □無　□有

根の離開が弱い 　　　　□無　□有

初診時のプラークコントロール PCR値：　　%

歯列不正 □無　□有

歯周治療歴 □無　□有

オーラルリハビリテーションの必要性 (フレミタス、フレアアウト等)

□無　□有 (症状・処置： )

広汎な補綴処置　　　　　　　 □無　□有

細菌検査　　　　　　　　　　　 □無　□有 (結果: )

自由記載 (課題や疑問点など: 　　　　　　　　　　　　　)

新分類：ステージ:　　　　　　　　　　　　グレード: